

指定管理者の実績評価シート

令和4年5月(平成30年度～令和3年度実績)

施設名	岩ヶ池公園		
主管部課等名	都市政策部公園緑地課		

(1)指定管理者の概要

指定管理者	刈谷ハイウェイオアシス株式会社		
所在地	刈谷市東境町吉野55番地		
管理体制	園長1人、係長1人、係員2人、事務員1人、パート職員2人		
指定期間	H30.4.1～R5.3.31	指定方法	公募
管理業務の内容	施設管理業務、植栽地管理業務、施設及び設備等の修繕業務、運営業務		

(2)運営状況

行事・講座等	藤まつり(茶会)、寄せ植え教室、イルミネーション、Toyコンサート等			
サービス向上への取り組み	事務所窓口やアンケートなどを通して利用者のニーズを吸い上げ、自主事業や会社サポート事業を実施し、より良いサービス提供に努めている。			
利用状況	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度
公園遊具区域利用者数	1,834,000	1,718,000	1,354,000	1,757,000
オアシス館刈谷使用者数	513,500	484,000	266,300	868,400

満足度アンケート	概要	実施時期:令和3年8月 実施方法:利用者へアンケート用紙を配布・回収(配布数:100) 設問:施設の利用に関して「満足」「ほぼ満足」「普通」「少し不満」「不満」から選択			
	結果	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度
	回収率(%)				100.0
	「満足」「やや満足」の割合(%)				98.0
	上記への対応状況	「遊具がたくさんあり料金が安くて利用しやすい」「トイレがきれいなので利用しやすい」「ミストシャワーが有難い」「水遊びできるのが嬉しい」「スタッフが親切でよい」等の高評価を得た。令和3年度はミストシャワーを設置する等、窓口に寄せられる声も数年に渡り高い満足度を維持している。			

モニタリング実施結果

主な問題点及びその対応状況	駐車場においてたむろ行為や自動車による騒音行為が発生し、駐車場の適正な利用について検討する必要があった。(R3.1)この状況を受け、指定管理者から警備担当者に実態の確認を行った。また、駐車場9箇所に集会や迷惑行為を禁止する看板の設置を行い、警察との連携を図った。(R3.2)
利用者からの反応及びその対応状況	親水広場を利用していた際、子供が足を滑らせて転倒した。足元が少し緑色に汚れていたため、足が滑る要因にならないよう早急に清掃を実施してほしいという意見があった。これを受けて現場確認後、翌日、高圧洗浄による清掃を実施した。(H30.6)
その他特記事項	新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う緊急事態宣言により、令和2年3月3日から令和2年5月28日までの間(4月6日から4月9日を除く)、有料遊具ゾーン及びオアシス館を閉鎖したことにより、令2年度の利用者数は大きく減少した。令和3年度には感染症対策に配慮した形で運営を行い、利用者数も回復している。

## (3) 収支の状況

収支の状況(単位:円)		平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度
収入	指定管理料	69,546,676	82,939,000	87,737,000	85,787,000
	利用料金	83,096,950	77,872,250	60,710,500	78,980,800
	その他	145,200	156,900	0	0
	収入(計)	152,788,826	160,968,150	148,447,500	164,767,800
支出	事業費	2,414,976	2,829,202	1,256,799	1,768,806
	管理運営費	79,516,881	83,621,694	80,819,007	92,474,225
	人件費	72,648,801	72,628,361	65,193,673	69,214,031
	その他	1,584,819	1,689,913	1,578,839	1,418,623
	支出(計)	156,165,477	160,769,170	148,848,318	164,875,685

## (4) 総合評価

評価項目	判定
法令等の遵守	B
適正なサービスの提供(苦情対応・アンケートなど)	B
運営状況(協定書、事業計画書等に沿って運営されているか)	A
施設の利用状況(稼働状況、事業計画の達成度など)	A
管理経費等の収支状況(経理状況や経費節減の取組み)	B
自主事業の実施状況	B
施設の維持管理状況	B
保守管理の実施状況	B
総合評価	判定
評価の理由	新型コロナウイルス感染拡大の影響もあったが、施設の利用率は高く、また、適切な管理状態が保たれており、期待どおりの業務内容である。 B

## (4) 総合評価の欄について

判定は、各項目につき、下記の4段階評価し、評価不能な項目は「-」とする。

- A: 協定書、仕様書に定める内容を上回る成果があった。
- B: 概ね協定書、仕様書に定める内容どおりの成果があった。
- C: 協定書、仕様書に定める業務内容に達しない面があり、改善の努力が必要。
- D: 管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善を要する。
- : 実施していない。